



炭を付け合う親子

健康、幸せ願ひ合い
實相寺で恒例のスミつけ祭り

煙山の實相寺で2月1日、毎年恒例のスミつけ祭りが行われました。町内外から約500人が参加。子どもから大人まで、お焚き上げの後の消し炭を塗り合い、無病息災や五穀豊穡を願いました。

姉妹で参加した菊池美玖さん（矢巾北中1年）、璃心さん（煙山小5年）は、仲良く顔いっぱい炭を付けていました。美玖さんは「知らない人に炭を付けるのが面白かった」、璃心さんは「炭を冷やす雪が今年はなく、大変だった。楽しかった」と話していました。

会場では、「スミつけコンテスト」として、よく炭が塗られた子ども11人に高橋町長から記念品が贈られました。



スミつけ祭り会場で行われたお焚き上げ

幣懸の滝を背に
稽古に打ち込む子どもら

**幣懸の滝で寒稽古
盛岡市の空手道場**

極真会館総本部岩手道場（盛岡市）は1月19日、幣懸の滝で恒例の寒稽古を行いました。

門下生ら約30人が参加。例年よりも雪が少ない中で、稽古の開催となりましたが、稽古に臨む子どもらは必死の形相。寒さに負けまいと拳を何度も突き出し、稽古に励んでいました。

高橋町長に提案書を渡す
盛岡となん支援学校の児童ら

**盛岡となん支援学校
児童が町へ提案**

県立盛岡となん支援学校の吉田啓祐君（6年）、附田昊君（5年）、瀬川夢さん（同）は1月15日、町に対して同校前における「音響付信号機」「歩行者用の信号機」の設置を提案しました。

児童らが自ら、町内を散策して感じ取ったことを基とした提案。町はこれを受けて、紫波警察署へ要望書を提出しました。



通学路の環境改善について質問する
佐々木志歩さん（矢巾東小6年）

「人」や国の不平等をなくす」「産業と技術革新」などについて、取り組み状況を質問。一般質問終了後には「SDGsの取り組み宣言」を行い、各校で自分なりに努力することを誓いました。



発展途上国への支援について質問する
佐藤光君（矢巾北中2年）

質問者は佐藤光君（矢巾北中2年）、川村悠人君（矢巾中2年）、佐々木志歩さん（矢巾東小6年）、白澤隼空君（不動小6年）、中屋琴子さん（煙山小6年）、宮朔太郎君（徳田小6年）の6人。各校とも、質問者の他に2〜3人が一緒に登壇し、再質問をしました。児童生徒は「質の高い教育」

**SDGsをテーマに質問
白熱、子ども議会**

町子ども議会が1月24日、町議会議場で行われました。

町内4小学校と2中学校から計24人が出席し、一般質問を実施。今回は、SDGs（持続可能な開発目標）の考え方に

基づき、町の各種施策について、児童生徒が鋭い質問をしました。

町子ども議会が1月24日、町議会議場で行われました。

町内4小学校と2中学校から計24人が出席し、一般質問を実施。今回は、SDGs（持続可能な開発目標）の考え方に

基づき、町の各種施策について、児童生徒が鋭い質問をしました。

町子ども議会が1月24日、町議会議場で行われました。

町内4小学校と2中学校から計24人が出席し、一般質問を実施。今回は、SDGs（持続可能な開発目標）の考え方に

基づき、町の各種施策について、児童生徒が鋭い質問をしました。



協定を締結した室岡営農組合の
村松組合長と高橋町長

**給食を地産地消で
室岡営農組合と協定**

町は1月16日、室岡営農組合（村松潔組合長）と「学校給食で使用する食材の購入に係る協定」を締結しました。

学校給食で地産地消に取り組む、地元の農業振興を図るもの。村松組合長と高橋町長が、協定書を交わしました。



大学生らに勉強を学ぶ
矢巾中学校の生徒

**現役大学生に質問！
ラーニングサポート**

矢巾中学校、矢巾北中学校で1月23日、岩手大学の学生が中学生に教科指導を行う「ラーニングサポート事業」が行われました。

矢巾中学校では高校受験直前の生徒4人が受講。山崎紗弥子さん（3年）は「大學生は親しみやすく、質問しやすい。説明も分かりやすかった」と話しました。